

## 質問・意見一覧表

管理番号	質問内容	質問者	回答	担当課
5	順調ではあるが、26年度より人数が減っている要因は何なのかを調べる必要がある。	上原委員	減少の要因としては、平成26年4月からの貸し切りバス運賃改正によるバスツアー料金の値上げ、平成28年10月に発生した鳥取中部地震、29年2月の大雪、平成30年9月の西日本豪雨はじめとする多くの台風発生などによる影響等により、国内旅行者を中心に観光客の減少が考えられています。 なお、鳥取県全体においても、同じ推移で減少傾向にあります。	観光・ジオパーク推進課
	数値目標からは順調といえるが、H26の現状より下回っており、今後の進め方を検討する必要があると思う。	小谷委員	全国的にも国内旅行需要が伸び悩む中、引き続き旺盛なインバウンド需要を取り込むため、麒麟のまち観光局や関係自治体と連携し、東アジアを中心とするプロモーション活動を展開するとともに、外国人観光客の周遊促進や受け入れ態勢を強化していきます。 また、鳥取西道路沿線観光施設等への周遊に効果をあげている「鳥取西道路開通観光キャンペーン」を、引き続き鳥取県や観光コンベンション協会と連携しながら展開していきます。	観光・ジオパーク推進課
	平成26年の現状289万人より、平成30年の実績68.5万人が下回っているのに、順調の評価になるのは納得しにくい。	林委員	鳥取市創生総合戦略施策評価（内部評価区分）に基づいた評価であります。現状は認識しています。基準となる平成26年と比較した場合実績が下回っているものの、過去4年間においては本市の宿泊客数は上昇傾向、観光客の入込客数についても昨年度実績を上回っており、引き続き目標達成に向けて取組強化を図ってまいります。	観光・ジオパーク推進課
	鳥取-台湾定期便化に向け、インバウンド対応の強化を。	森原委員	これまでから台湾市場を重点ターゲットに位置付けて、観光プロモーション活動を展開しています。本市における台湾観光客の宿泊客数は、平成26年度が583人であったが、平成30年度は2,819人と約5倍に増加しています。今年9月に始まった台湾インバウンドチャーターも搭乗率が86.8%と高く好調であり、引き続き台湾へのプロモーション活動を重点的に展開していきます。	観光・ジオパーク推進課

管理番号	質問内容	質問者	回答	担当課
5 ・ 95	H30年実績がH26年実績を下回っているのに、達成率84%（順調）とするのは矛盾している。取り組んだ期間中の増減人員で評価すべきでは？	田中委員	鳥取市創生総合戦略施策評価（内部評価区分）に基づいた評価ではありますが、現状は認識しています。基準となる平成26年と比較した場合実績が下回っているものの、過去4年間ににおいては本市の宿泊客数は上昇傾向、観光客の入込客数についても昨年度実績を上回っており、引き続き目標達成に向けて取組強化を図ってまいります。	観光・ジオパーク推進課
80	遅れている要因は何か	上原委員	求職登録者の希望に沿った就職マッチング支援を行っているため、就職までに期間を要するケースが多く、速やかな就職率の上昇となっていないところです。	地域振興課 経済・雇用戦略課
	達成率は低いですが、良い事業なので続けてもらいたい。	塩谷委員	移住相談内容では、「仕事」及び「住まい」に関する相談ニーズが圧倒的に多い状況です。更なるサービス向上に向け、継続して取り組んでまいります。	地域振興課 経済・雇用戦略課
	移住定住交流ガーデンは市民の認知度は低いと思う。市民に周知を図り、あらゆる情報を集積し、相談者に合った内容が届けられることができればと思う。	小谷委員	市外の移住希望者や市民に親しまれ、利用いただけるガーデンとなるよう、認知度向上と合わせて、イベントや支援制度の最新情報や移住お役立ち情報等の発信に努めます。	地域振興課 経済・雇用戦略課
	UJIターン希望者側から見ると、二重の相談窓口になっているのでまわりくどい印象。迅速にワンストップサービス対応となれば、達成率UPにつながるのではないかと思う。	山田委員	地域振興課（移住定住相談窓口）と移住・交流情報ガーデンの一本化も含めて、効率的・効果的な相談体制や窓口の再構築を検討します。	地域振興課 経済・雇用戦略課
	地域振興課の無料職業相談所の専任相談員が、移住定住交流ガーデンの相談者とインターネット接続パソコンで就職相談する体制を作れないか。	林委員	専用回線を敷くことで就職相談体制を確保することは可能と考えますが、土・日・祝日の休日対応等での課題もあります。効率的・効果的な相談体制や窓口の再構築の中で検討することとします。	地域振興課 経済・雇用戦略課

管理番号	質問内容	質問者	回答	担当課
95	この調子で取り組んでいってほしい。客数やホテル・温泉に宿泊したなどの人数を知りたい。	上原委員	本市の宿泊者数は平成26年は約48万5千人、27年は約36万人、28年は約41万人、29年は約41万8千人、30年は約45万4千人となっています。 一方、外国人宿泊者数は、28年度17,453人、29年度24,259人、30年度31,672人と年々増加しています。	観光・ジオパーク推進課
96	今の連携を進めながら、先を見た計画も考えていってほしい。	上原委員	平成30年1月に設立した（一社）麒麟のまち観光局の事業計画は、H29年3月に作成した「鳥取因幡・北但西部観光グランドデザイン」に基づき実施しており、今後の観光情勢を見据えながら、各種取り組みを展開していくこととしています。	観光・ジオパーク推進課
	さらに関係者との連携を図ってください。	小谷委員	麒麟のまち観光局は、圏域をひとつのブランドとして地域資源の魅力を向上させ、観光のみならず、商工・農林漁業・交通・金融・行政など、あらゆる分野が連携して地域の稼ぐ力を引き出し、地域経済を活性化させることを目的にしており、今後も多様な関係者とのつながりを深めるとともに、連携を広げながら広域観光を推進していきます。	観光・ジオパーク推進課
	但馬と連携して広域観光の推進はいいことだと思う。	塩谷委員	新温泉町と香美町は、山陰海岸ジオパーク、麒麟獅子、北前船寄港地など、歴史的・文化的なつながりや、古くから経済圏域としても関わりの深い地域です。 但馬地域の湯村温泉や余部鉄橋など魅力的な資源も豊富で、これらを相互に活用することで、圏域全体の魅力アップに向けた取り組みを図り、更なる連携を進めていきます。	観光・ジオパーク推進課
	各地の観光協会との連携・役割分担をしながら、広域観光や周辺観光を進めてほしい。	林委員	各市町の観光協会は麒麟のまち観光局の構成員となっており、引き続き連携を図りながら広域観光を推進していきます。 また、DMOの役割としては、各種情報・データの収集・分析や、圏域ブランドの構築及び観光戦略の立案、これを基にした旅行商品の造成・販売などのマネジメントなどを主体に行います。各地域の観光協会としては、DMOからの情報・データ分析結果や観光戦略などを踏まえ、地域イベントや観光資源の発掘・磨き上げなど図り、各地域の観光振興に特化した事業を担うことなどを役割としています。	観光・ジオパーク推進課

管理番号	質問内容	質問者	回答	担当課
	鳥取市のブランドの確立を目指す上で、長所・短所を見た上でPRして行ってほしい。	上原委員	本市の長所・短所を把握することは、鳥取市ブランドの確立を目指す上で、非常に重要と考えます。創生総合戦略策定の際、県内外での意見交換会やwebアンケート等で意見を伺っているところです。長所については、砂丘・温泉・食などの本市の優れた魅力資源を磨き上げ、短所についても、砂漠、地味、遠い、何もない、分からないなどのマイナスイメージから、快適、安心安全、高品質、観光地などのプラスイメージへ転換させることで魅力につなげる工夫により、シティーセールス及びシティープロモーションの取組の中で、効果的にPRを図って参ります。	政策企画課
99	「SQのあるまち」の認知度の浸透状況を客観的に評価できるKPIが必要では？	田中委員	ブランドスローガン「SQのあるまち」は、本市の魅力資源の磨き上げのための指針となるものと考えており、本市のブランドの確立やプロモーションの展開については、最終的な目的である「住む人、訪れる人の満足度が高い、愛され続ける鳥取市」を目指し取組を進めており、移住定住者数と観光入込客数をKPIとして設定しているものです。	政策企画課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランドスローガンが市民に分かりにくい。もっと具体的なイメージのわくスローガンを。</li> <li>・「すごい！鳥取市」も何がすごいのか全く浸透していない。市民が誇れる財産を認識できる取組みを。</li> </ul>	森原委員	<p>ご指摘のとおり、ブランドスローガン「SQのあるまち」は、一見して意味が明らかな表現ではなく、込められた意味を理解していただくため、丁寧な説明が必要であると考えております。市民の方々に対して、鳥取市ホームページ、市報、新聞広告、いなびりょんぴょんネットの番組、地区会長会等、様々な媒体や機会を利用し、「SQのあるまち」に込められた意味について周知・浸透を図っているところです。</p> <p>また、現在、新たなシティプロモーションの展開を検討しており、キャッチコピー等も含めたより具体性のあるPRについても取り組んで参ります。</p>	政策企画課 広報室

管理番号	質問内容	質問者	回答	担当課
122	入込客増加数で比較すれば、達成率は48.4%では？	田中委員	過去4年間においては本市の宿泊客数は上昇傾向、観光客の入込客数についても昨年度実績を上回っており、引き続き目標達成に向けて取組強化を図ってまいります。	観光・ジオパーク推進課
	麒麟獅子舞と日本海の風が生んだ絶景・秘境が日本遺産に認定されたので、この機会を活かして広域周遊観光を進めてほしい。	林委員	日本遺産は、地域の特色ある歴史的魅力を語るストーリーが認定されるものです。そのストーリーを語るうえで不可欠な構成文化財を活用しながら国内外へPRし、地域活性化につなげていくものです。この度の日本遺産認定を受けて、エリアとしてのプロモーションをしっかりと行い、戦略的な情報発信を展開しながら、圏域内への観光誘客に向けて広域周遊観光を推進します。	観光・ジオパーク推進課
	北前船の日本遺産のアピールが全く足りない。他県と連携したイベントを。	森原委員	北前船をテーマとする日本遺産の追加認定を受け、そのストーリーや賀露港と青谷港の構成文化財を紹介するPR看板の設置をはじめ、地元小学生を対象にした学習会を開催するなどの取り組みを行っているところです。 また、認定を受けた全国の45市町（今年度7市町が追加）で構成する推進協議会によるホームページ開設や旅行商品造成などの取組も行い、国内外への情報発信や認定市町の連携を図っています。引き続き、地元はもとより、全国の45市町と連携強化を図りながら広くPRに努めてまいります。	観光・ジオパーク推進課